

令和 4（2022）年度 資源評価調査報告書（新規拡大種）

種名	メイタガレイ	対象水域	瀬戸内海西部
担当機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 社会・生態系システム部、山口県水産研究センター内海研究部、福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所、大分県農林水産研究指導センター水産研究部北部水産グループ	協力機関名	

1. 調査の概要

- (1) 精密測定調査：各県において市場および標本船の漁獲物を対象に全長の測定を実施した。
- (2) 標本船調査：各県において小型底びき網（以下、「小底」という）標本船CPUEの調査を実施した。

2. 漁業の概要

山口県
山口県海域における主要漁業は、周防灘、伊予灘、安芸灘における小底と建網である。小底は、春と秋の休漁期を除き、ほぼ周年操業を行う。春～秋季は手繰第二種、秋～冬季は同第三種を使用し操業するが、一部の漁業者は冬季も第二種の漁具を使用している。メイタガレイは秋～冬季に多く漁獲される。建網はほぼ周年操業するが、かれい類を主目的として操業する場合は「カレイ建網」と呼ばれ、メイタガレイは春季に多く漁獲される。

福岡県
福岡県海域における主要漁業は、小底と固定式刺網漁業である。小底は、一般的に春～秋季は手繰第二種、秋～冬季は同第三種を使用し操業するが、一部の漁業者は、冬季も第二種の漁具を使用し、メイタガレイを漁獲している。固定式刺網は周年操業するが、メイタガレイは主に「カレイ建網」と呼ばれる三重網で漁獲され、盛漁期は冬季である。

大分県
大分県海域における主要漁業は、小底と刺網である。小底は春の休漁期を除き、ほぼ周年操業を行う。春～秋季は手繰第二種（えび漕ぎ）、秋～春季は手繰第三種（貝桁）での操業が一般的である。刺網はほぼ周年操業を行うが、特にかれい類を主目的として操業する場合は「カレイ建網」と呼ばれ、メイタガレイは冬季に多く漁獲される。

3. 生物学的特性

成長式 雌：TL = $284.2 \times (1 - e^{-0.552(t+0.451)})$ 雄：TL = $280.0 \times (1 - e^{-0.529(t+0.444)})$
 全長体重関係 BW = $3.39 \times 10^{-6} \times TL^{3.25}$
 ここで TL は全長 (mm)、BW は体重 (g)
 成熟年齢は 2 歳、寿命は 8 歳（山口県ほか 1987）、産卵期は 11～12 月である（寿命以外

は山口県未発表データによる)。

4. 資源状態

山口県

1984～1995年の小底におけるCPUEは、約2 kg/日隻の低い値で推移していた。1996、1997年にCPUEが大きく上昇したが、その後再び減少し1998年以降は2～3 kg/日隻の値で推移した。

2009年以降CPUEは減少傾向が続き、2021年の小底の値は2020年と比べると73.5%と減少し2011～2020年の10年間の平均値の76.4%と低い水準であった(図1)。これらの結果から、メイタガレイの資源水準は低位で、直近5年間(2017～2021年)のCPUEの推移から動向は横ばい傾向にあると判断された。

なお、市場における漁獲物測定では、全長125～325 mmの個体が確認された(図2)。

福岡県

市場における漁獲物測定では、全長125～425 mmの個体が確認された(図3)。

CPUEは、手繰第二種で0.02 kg/日隻、同第三種で0.13 kg/日隻、第二種と第三種の平均で0.07 kg/日隻となり、2000年代に比べ非常に低い水準で推移している。また、直近5年間(2017～2021年)のCPUEの推移から資源動向は増加傾向と考えられる(図4)。

大分県

市場調査の結果、冬季に全長150～250 mmの個体が多く漁獲された(図5)。

小底標本船におけるCPUEは、2010年に2.0 kg/隻日と上昇したが、2012年に0.5 kg/日隻まで減少し、2021年は0.2 kg/日隻と2020年の0.3 kg/日隻と同程度であり、依然として低い値であることから、資源水準は低位と判断される。また、直近5年間(2017～2021年)のCPUEから判断すると、資源動向は横ばいである(図6)。

5. 資源回復などに関するコメント

周防灘海域においては、「周防灘小型機船底びき網漁業対象種資源回復計画」は終了したが、同計画で実施されていた措置は、各県が定める資源管理指針や、それに基づく資源管理計画により継続されており、小型魚の保護として全長15 cm以下の再放流を行っている。また、小型機船底びき網漁業の資源管理措置として、公的制限を除く自主的な年間土曜日35日以上休漁にも取り組んでいる。

6. 引用文献

山口県・福岡県・大分県(1987) 昭和59～61年度周防灘漁業管理適正化方式開発調査事業最終報告書, pp.298.

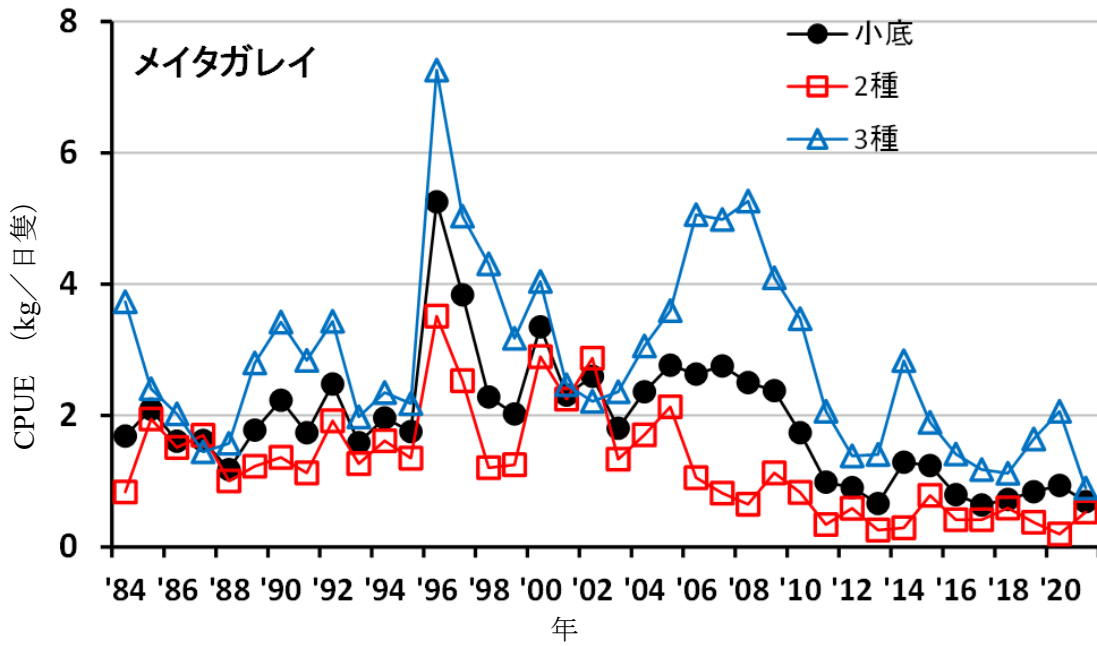


図1. 山口県における小底標本船のメイタガレイ CPUE

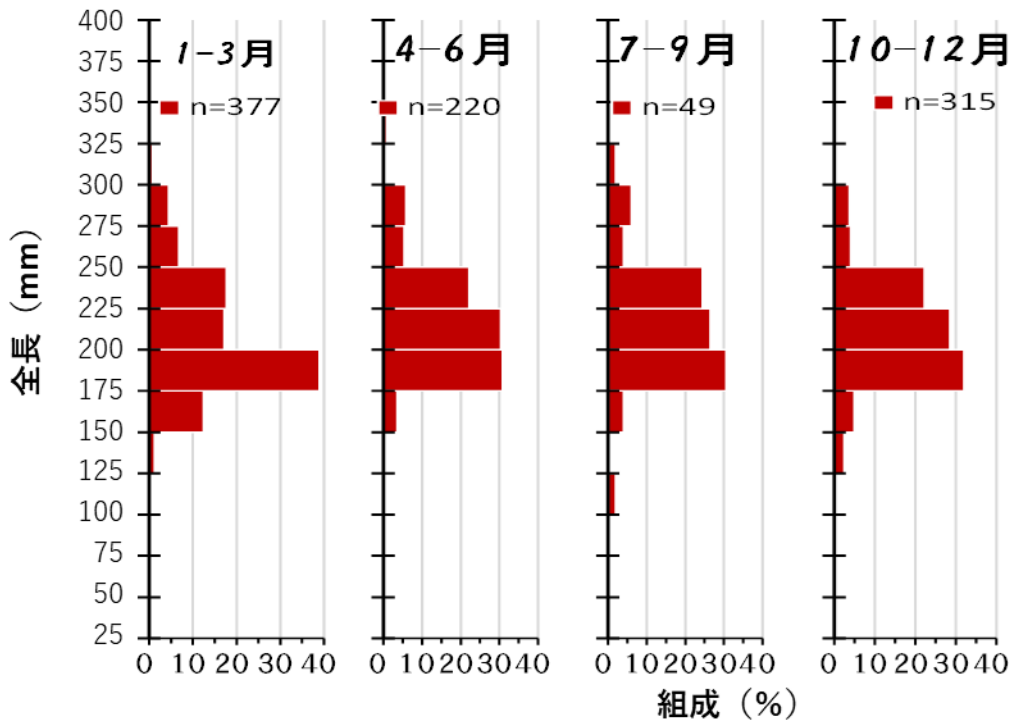


図2. 山口県におけるメイタガレイ漁獲物の全長組成

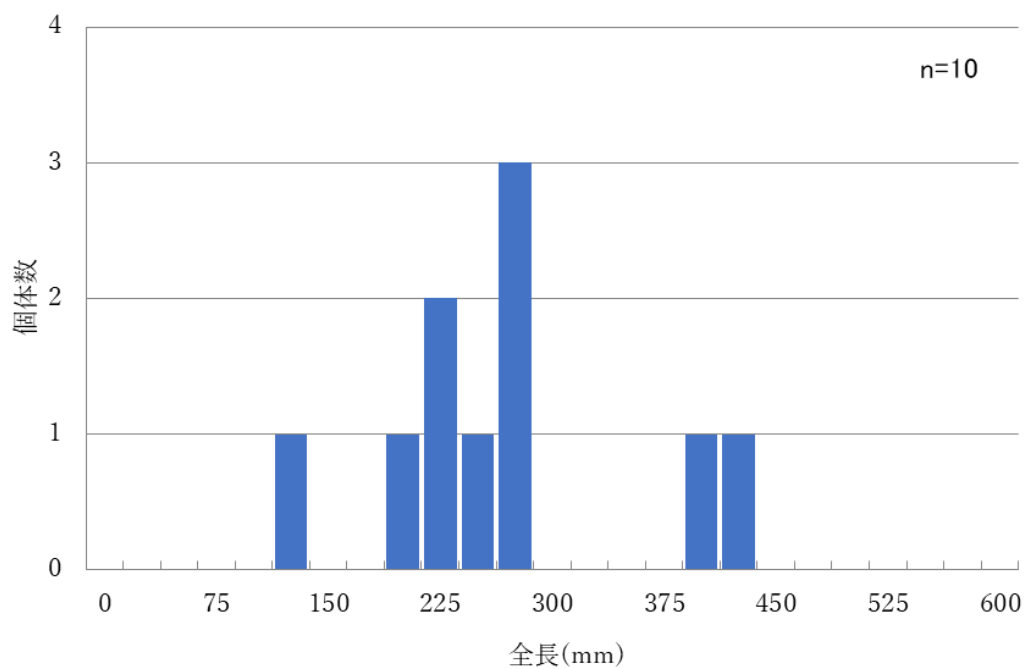


図3. 福岡県・行橋市魚市場におけるメイタガレイの全長組成

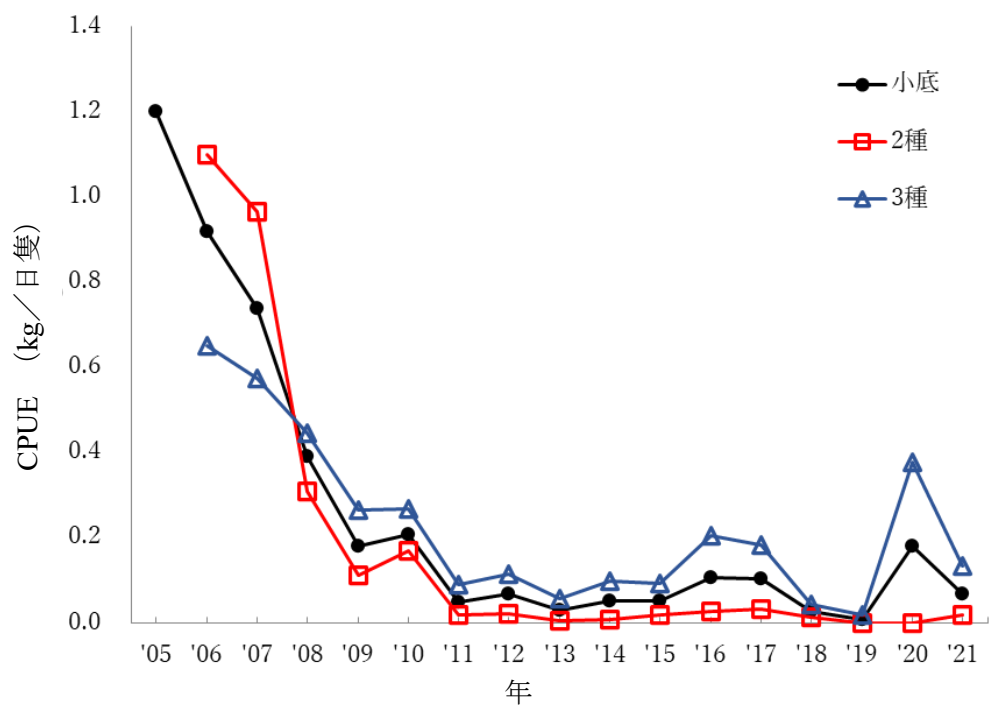


図4. 福岡県における小底標本船のメイタガレイ CPUE

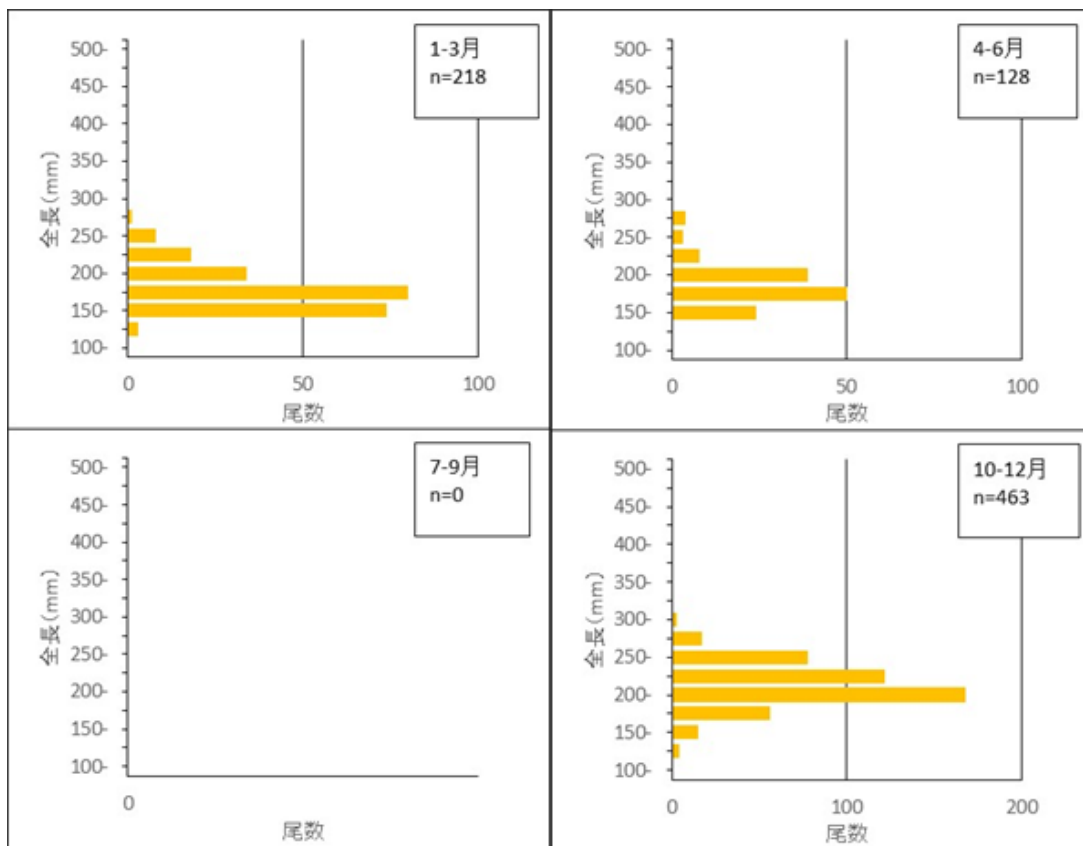


図 5. 大分県・高田魚市場におけるメイタガレイの全長組成

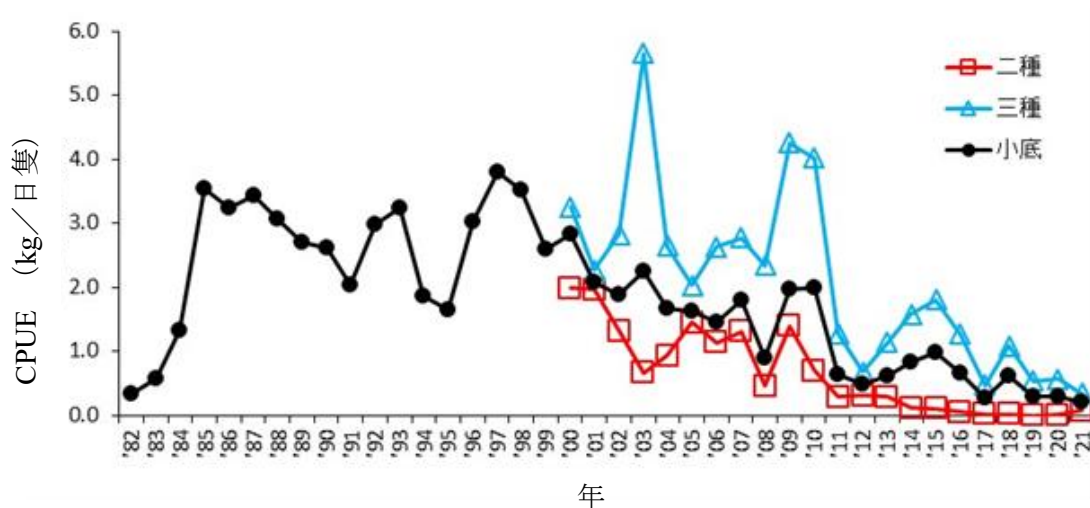


図 6. 大分県における小底標本船のメイタガレイ CPUE

